

2級

ネイリスト 技能検定試験 実技採点基準

合格基準

「採点」は5点満点法で採点します。
5点…良い
4点…合格ラインに達している
3点…合格には少々不足している
2点…良くない
1点…悪い

【合格の基準】○50点満点で、38点以上（減点を反映した合計得点）
○失格対象に該当していない

【不合格の基準】●50点満点で、37点以下（減点を反映した合計得点）
●失格対象に該当している

事前審査のチェックポイント

実技試験のチェックポイント

採点項目	チェックポイント
1 テーブルセッティング&消毒管理	<p>7) 事前にポリッシュが塗られていないこと。</p> <p>イ) 手指消毒は手の平、手の甲、指先、指間にいたるまで擦式清拭する。手に直接、噴霧(スプレー)することは禁止。但し、落としたり物を消毒する際に清拭消毒を行えない場合は、試験会場という限られた現場での対応として噴霧(スプレー)しても良い。※手指消毒に関しては実技試験中の採点に含まれる。</p> <p>ウ) 用具、用材が衛生的に処理され、品名ラベルを貼付し、正しくセッティングされていること。テーブルセッティング及び試験中は、アームレスト、ペーパータオルの上で施術を行い、認定モデルハンド、用具、用材をテーブルに直置きしないこと。※ペーパータオルは、アームレスト手前の施術スペースを覆うサイズをセットすること。</p> <p>エ) ウェットステリライザーには、キューティクルニッパーの刃先が浸る程度を目安に消毒液を入れ、中にキューティクルニッパー・ピンセット・ウッドスティック・メタルプッシャー等がセットアップされていること。</p>
2 モデルの爪	<p>ウ) モデルの爪はイクステンションされた爪(バーチャルを含む)やりペア(グルーオンを含む)した爪が2本以内であること。1週間以内にキューティクルクリーンやファイリングなどをしていないこと。 ※やりペアがある場合、仕上がりに影響がなければ、必ずオフをしなくてもよい。</p> <p>カ) モデルは15歳以上であり、爪及び爪周りの皮膚に疾患が認められないこと。</p>
2 認定モデルハンドの状態	<p>キ) 認定モデルハンドの状態について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JNEC認定ラベルが貼付された右手・左手の認定モデルハンドを使用すること。 ・キューティクル周りに著しい汚れ、目立ったキズ等がない、状態が良いものを使用すること。 ・認定モデルハンドは事前にJNEC認定ルースキューティクルを貼付した認定ネイルチップが10本適切に装着されていること。事前に認定ネイルチップの長さ、形に手を加えないこと。 ・人の手と同様に丁寧に扱い、施術すること。 ・認定モデルハンドを固定するためのアームや吸盤等は使用禁止。 ・文字や線、目盛を記入した認定モデルハンドは使用禁止。 ・試験中、認定ネイルチップが外れた場合はすぐにつけ直すこと。認定ネイルチップが装着された状態で施術すること。(装着していた認定ネイルチップが試験会場に来る際に取れた場合は、実技試験時間内につけ直すこと。事前審査の際は認定モデルハンドと共に外れた認定ネイルチップを並べておくこと。) ・試験終了時には全ての指を伸ばし、全ての指に認定ネイルチップが装着されていること。
1 ファイルストローク ※工程審査有	<p>7) エメリーボードは、爪の厚さや丸みに対して正しく持ち、当て方、強さが適正に使用されていること。</p> <p>イ) ウォッシュャブルファイルを使用しないこと。(モデルに施したイクステンション、リペアを除く)ファイリングの往復がけをしないこと。※ファイリングの前にネイルニッパーの使用可。(チップカッターは使用禁止)</p>
2 ラウンド 仕上げ	<p>ウ) サイドはストレートに、先端は緩やかなカーブを描き、両サイドに角がないこと。</p> <p>エ) 10本の形が同じように整えられ、チップ&ラップ以外の9本の長さのバランスがとれていること。</p>
3 メタルプッシャーの 使用方法 ※工程審査有	<p>ウ) ブラシダウンを行うこと。</p> <p>カ) ケア用水を使用し、メタルプッシャーの角度と当て方、強さが適正で正しく安全に10本全てに使用していること。その際、キューティクルクリームまたはキューティクルリムーバーを使用すること。</p>
4 ニッパーハンドリング ※工程審査有	<p>キ) キューティクルニッパーの扱い方、使用方法を正しく理解し、10本全てに適切に使用しているか。 《注意》ケア用水を使用し、ガーゼクリーンを10本に行い、その際ガーゼを引きずることのないように衛生的に配慮すること。</p>
5 クリーンナップ仕上げ	<p>ク) ルースキューティクルやささくれ等の角質処理がされていること。</p> <p>ケ) キューティクルをカットしていないこと。</p>
6 カラーリング (ライン取り、表面、色ムラ) ※工程審査有	<p>コ) キューティクルラインとの隙間が空きすぎず、キューティクルラインが揃っていること。</p> <p>サ) 表面に色ムラ、ハケ筋、バブル(気泡)ができていないこと。また、ネイルプレートが透けて見えないこと。 ※チップ&ラップとアートを除く8本が審査対象</p>
7 チップ&ラップ (チップ及びラップの装着)	<p>シ) サンディングから始め、適切なサイズのチップを正しく装着されていること。</p> <p>ス) ラップ材はストレスポイントをしっかりと覆い、エッジの先端までを装着すること。</p>
8 チップ&ラップ 仕上げ	<p>セ) スタイリングはラウンド、フリーエッジの仕上げの長さは5mm程度であること。</p> <p>ソ) 表面に凹凸やバブル(気泡)がない等、スムーズな仕上げであること。</p> <p>タ) Cカーブが10%程度あること。</p> <p>チ) キューティクル及びサイドウォールにグルー等がはみ出していないこと。</p> <p>ツ) 仕上げの表面に光沢が出ていること。</p>
9 ネイルアート	<p>テ) 塗布するカラーポリッシュの色は指定色以外であること。また、ベースコート、カラーポリッシュ、トップコートまで仕上げる。</p> <p>ト) テーマに相応しいデザインであること。</p> <p>ナ) アートは筆のみで描き、色彩が豊かで、デザインのバランスがとれ、細密度が高いこと。</p>
10 全体の仕上げりと サロンワーク	<p>ニ) ネイルケアの技術を総合して、プロとしてサロンワークに適した工程と仕上げりであること。</p> <p>ヌ) モデルの手または認定モデルハンドの扱い方が丁寧で効率的であること。</p> <p>ネ) 認定モデルハンドにキズ・ささくれがないこと。キューティクル周りに著しい汚れ、キズ等をつけていないこと。</p> <p>ノ) 器具の使い方が正しく、また手際よくリズムカル・スピーディであること。</p>